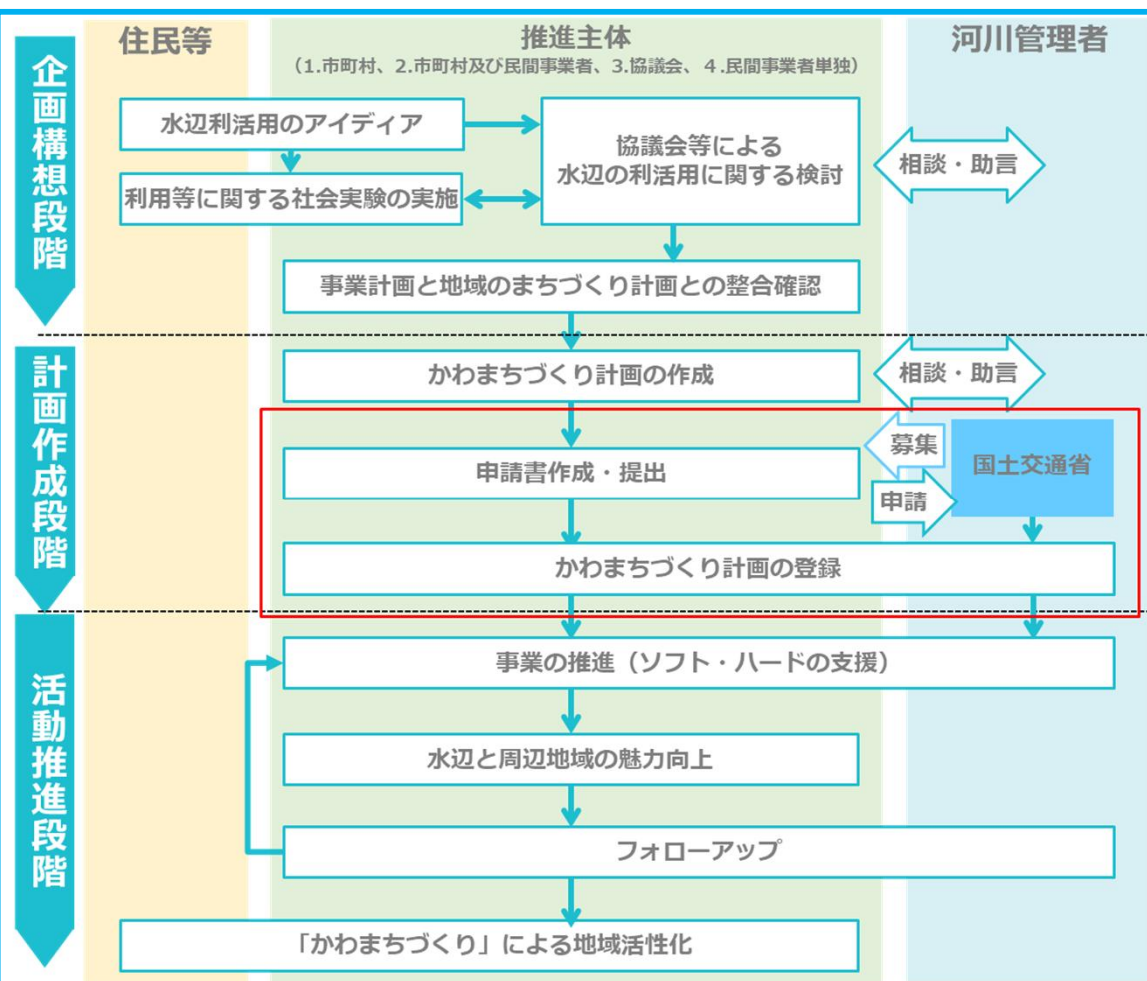


- ・地域の「かわまちづくり」の取組を河川管理者が支援する制度
- ・推進主体は「かわまちづくり計画」を河川管理者と共同で作成し、河川管理者は支援制度に登録された当該計画に基づき、必要なソフト施策、ハード施策の支援を実施する(令和7年度末時点登録数:303か所)

かわまちづくり実施フロー



ソフト施策による支援

- ・都市・地域再生等利用区域の指定(河川空間のオープン化)等による民間事業者等のオープンカフェ等への河川空間の多様な利活用の促進
- ・優良事例に関する情報提供や必要な調査等により、計画の実現を支援



河川空間のオープン化例

遊歩道の民間活用
(道頓堀川/大阪市)



先進的な取組の情報提供

賑わい拠点の整備
(木曾川/美濃加茂市)

ハード施策による支援

- ・治水上及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理用通路や親水護岸等の施設整備を通じ、まちづくりと一体となった水辺整備を支援。
(市町村、民間事業者が河川空間の利用施設を整備)



河川管理用通路の利用
(最上川/長井市)



親水護岸の利用
(新町川/徳島市)



すながわちく
砂川地区かわまちづくり

【題名】魅力的な水辺空間とすながわスイーツを融合した官民連携のまちづくり
【河川】石狩川水系・石狩川（一級河川）



水上アクティビティ



アイスケルセル（氷のメリーゴーランド）



ウォーターヒルズスクエア



スイートマラニック



水面を利用したイベント



わかさぎ釣り

かわまちづくりの概要

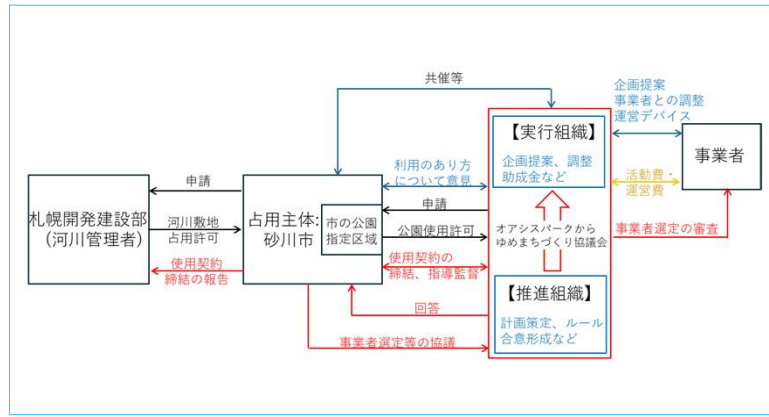
- 河川管理者による親水護岸等の整備に加え、市による多目的広場等の整備により、陸上・水面の両方の利便性が向上し、花火大会等の砂川市最大規模のイベントからカヌー・ヨット・ワカサギ釣り等まで、子どもや大人を問わず、日常的に水に親しめる環境が創出されている。
- 遊水地のかわまちづくりとして治水と親水を兼ね備えた水辺空間を形成し、様々なアクティビティとともに、地域ブランドである「すながわスイーツ」を融合した取組も盛んに行われている。
- 遊水地管理棟を含めた砂川遊水地全体を都市・地域再生等利用区域に指定することにより、民間事業者が営業活動を行いやすい環境が整備され、イベントの魅力向上と来館者増加の好循環が生まれている。

評価のポイント

- 遊水地を活かしたかわまちづくりの事例として貴重で、更に結氷した湖面での活動や冬まつりの開催等の冬季活用を進めている点は、水辺利用における季節格差への対応例として先進的であり、今後のかわまちづくりの参考になる。
- 官民連携の13団体からなる協議会「オアシスパークからゆめまちづくり協議会」が運営の中心となり、河川空間と地域固有資産のスイーツを融合したイベントやレンタサイクル、スタンプラリー等の取組の連携により、まちなかへの回遊が促進されており、その活動に若い世代が積極的に関わっている様子がうかがえ、継続的な取組となることが期待できる。

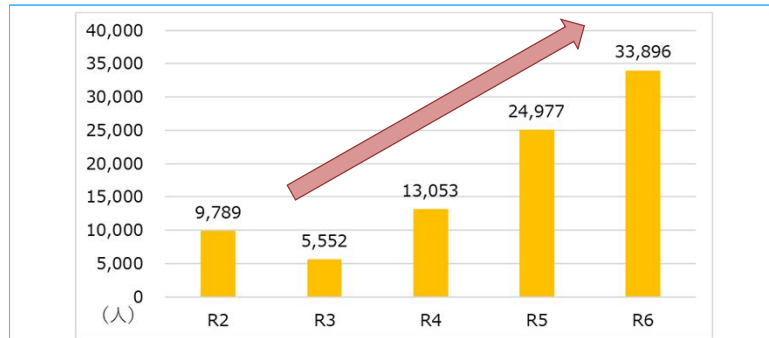
体制

・オアシスパークからゆめまちづくり協議会



管理運営体制図

効果



遊水地管理棟（ウォーターヒルズスクエア）の利用者数の推移

問合せ先：砂川市経済部商工労働観光課

TEL : 0125-54-2121 E-Mail : kanko@city.sunagawa.lg.jp



いずのくにし
伊豆の国市かわまちづくり

【題名】Park-PFIを活用した狩野川のにぎわい創出と憩いの場づくり
【河川】狩野川水系・狩野川（一級河川）



狩野川神島公園全景



カヌー体験



気球体験イベント



おもしろ自転車



伊豆の奇祭「かわかんじょう」



キッチンカーの活用

かわまちづくりの概要

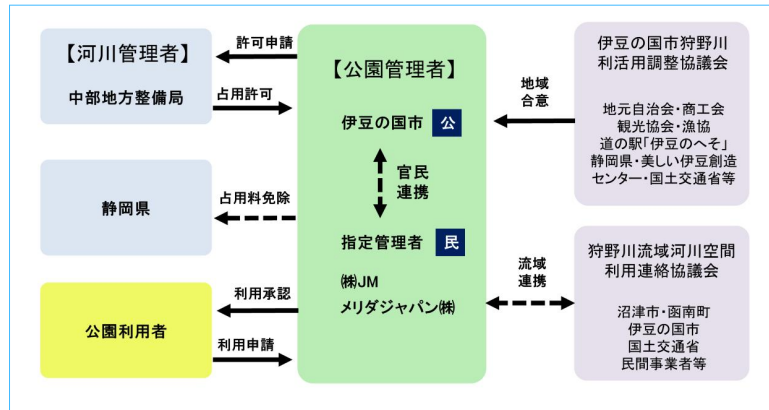
- 河川敷においてPark-PFI・指定管理者制度を活用し、官民連携による公園の整備・運営を行い、水防機能を重視しながら民間の収益事業との両立を図っている。
- 市と指定管理者によるドッグラン、キャンプ・BBQ対応の芝生広場、スケートボードやおもしろ自転車で遊べる多目的広場等の整備により、子どもから大人まで、幅広い利用者層が同時に楽しめる空間を創出している他、キッチンカーを導入することで、可動性を持たせながら滞在型・交流型の利用が促進されている。
- 階段・坂路・遊歩道（管理用通路）等のハード整備にあたり、バリアフリーに配慮した舗装や利用者の意見を反映した手すり増設等、利便性と安全性の向上につとめている。

評価のポイント

- 冠水の可能性がある高水敷においてPark-PFI制度を活用した事例は全国的には少なく先進的であり、市町村の整備や維持管理等の負担軽減という面でも今後のかわまちづくりの参考になる。
- 市が実証実験やサウンディング調査による事業者の公募検討から、水辺利用の試行まで着実にステップを踏んで進めるとともに、民間事業者が指定管理者として民間のノウハウを活用しながら企画・運営を行うことで、まち側の集客施設を前提とせず、河川空間そのものを主役として、にぎわいの創出や魅力発信につとめている。
- かわまちづくりとしてのKPIを明確に設定し、指定管理者が水辺で水上アクティビティやキッチンカー、バーベキュー等の多様なイベントを実施することで、継続的に市民に親しまれる河川空間を作り出し、結果として来場者数が順調に増加している。

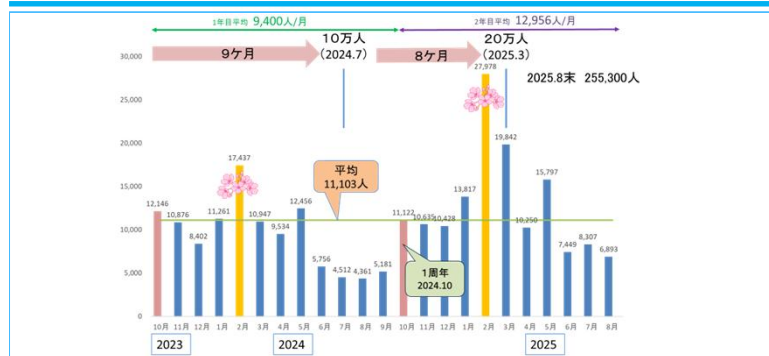
体制

・狩野川利活用調整協議会



管理運営体制図

効果



狩野川神島公園来場者数の推移

問合せ先：伊豆の国市都市計画課

TEL : 055-948-2909 E-Mail : tosikei@city.izunokuni.shizuoka.jp